

保育実習頑張りました

幼児教育保育学科Ⅰ回生

平長 優奈

0～5歳児のクラスを順番に回ってみて、年齢ごとの発達の違いや子どもに対しての先生の関わり方の違いを学ぶことができました。

乳児担当の先生は、食事や睡眠、排泄などの基本的な生活習慣への援助を行い、まだ話せなくても目を合わせ、子どもの行動や表情を見て話しかけるなど、言葉かけが子どもに安心感を与えていることを学びました。

幼児担当の先生は、子どもがやってみたいという気持ちを大切に、自立や主体性を育む援助を行っていました。そして活動や行動に必ずねらいを設定され、いずれの先生方も子どものために発達や特徴を捉えて考え、保育を行っていることを学びました。

10日間という短い期間で、年齢ごとの子どもたちの様子や保育士の援助などたくさん学びを得ることができました。今回の貴重な経験を、これからの実習に活かしていこうと思います。

大学祭を終えて

幼児教育保育学科Ⅱ回生

前川 七海

今年のテーマはスコーン×O。屋台は花苗、スーパーボールすくい、メダカすくい。模擬店は、たこやきとワッフル等を売りました。毎年恒例の花苗販売では朝早くから多くの来客があり大盛況、たこやきには長蛇の列ができ、早目に完売してしまつという嬉しい誤算もありました。幼児教育保育学科のパラバルーンと体操には、多くの子どもたちが笑顔で参加し、「楽しかった」「もっと踊りたい」という声は大きな励みになりました。

Ⅱ回生は大学祭を一から企画したこと、予算に応じた内容やプログラムを考えることの大変さを実感し良い学びになりました。来年、Ⅰ回生の皆さんは、一学年だけで短大最後の大学祭を企画運営することとなり大変だとは思いますが、力を合わせて頑張りたいと思います。美を飾ってほしいと願っています。

上段：パラバルーン
下段：メダカすくい



資格取得試験結果 医療事務・初級園芸福祉士

短大では、様々な資格試験へのチャレンジにサポートを行っています。学生たちは資格関連授業を履修し、それぞれが希望する資格試験を受験しました。

九月に六名の生活環境学科Ⅱ回生が、一般社団法人医療教育協会が実施する「医療管理秘書士」「調剤秘書士」「保健医療ソーシャルワーカー」「レセプト点検実務士3級」の資格試験を受験した結果、全員が高得点で合格し、併せて「診療実務士1級」も取得しました。

また、十一月にはNPO法人日本園芸福祉普及協会が認定する「初級園芸福祉士」の資格試験にチャレンジした学生も全員が合格し、資格を手にしました。

今後、取得した資格を活かし、資格に関連した仕事での活躍が期待されます。

